

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	(有)なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ1F		
所在地	長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日	令和4年 1月 12日	評価結果市町村受理日	令和4年6月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	令和4年3月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々癒やしの心で接する事を心がけています。行事はコロナ禍以前はご家族に呼びかけ沢山来られていましたが現在はコロナ予防対策として1F・2Fと別で開催しています。外出を現在は控えているので2Fや屋上にて花見をしたり、外食をテイクアウトに変更し色々な店でメニューも好きな食事を選んでいただき楽しみを持つよう心がけています。誕生日会は誕生者の方の好きな料理を取り入れた食事に行っています。市内で感染者が減少の時は、ドライブにて車内より外の雰囲気を楽しんでいます。生活の中では無理のない運動で筋力低下を防止することを心がけています。ベット上で過ごすことが多い利用者様は横になる際、又体位交換時にマッサージをし拘縮予防を心がけています。日中はそれぞれに好きな事(ソファでくつろいだり・ツツむきなど料理の手伝い)をし過ごしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所はウッドデッキや屋上からの眺望に恵まれた環境にある。理念「癒やし」を根底に、新型コロナ禍であってもドライブやテイクアウト、季節行事等利用者が楽しめるよう工夫を凝らしていることは、高く評価できる。運営推進会議の議事録を家族全員へ送付する他、面会制限中には、毎月発行する便りに手書きのメッセージを添え、利用者の笑顔の写真を同封している。また、LINEを利用し写真や動画で利用者の様子を届けており、家族への情報発信力が優れている。職員が、利用者のつぶやいた言葉を家族に確認し、それまで歩んで来た人生が判明した事例がある。職員の手作りカレンダーや一人ひとりの一年分のアルバム作り等、心のかもった支援が窺える。更には、料理を得意とする利用者がまとめたレシピ集からちらし寿司を作り、味見やアドバイスをもらうなど本人の能力を引き出す機会作りも優れている。職員は、利用者の人生に寄り添い、「癒し」の場となるよう真摯に取り組んでいる事業所である。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「癒やし」理念と経営方針は毎月1回の職員会議にて読み上げ常に頭に置き実践に繋げています	職員会議では、理念を全員で確認する場を設けている。理念「癒やし」を根底に、新型コロナ禍においても、ドライブやテイクアウトなど、利用者の癒しとなるよう工夫を凝らしている。また、職員の利用者に優しく寄り添う姿勢が事業所全体に浸透しており、理念の具現化が確認できる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍により地域の方や近隣のGHとの交流はしていないが令和3年12月にコロナが落ち着いてきた際近隣中学校の生徒さんが来られハンドベル演奏・車椅子の贈呈がありました。久々の交流で感慨深い物がありました	今年度、新型コロナ感染者数が少ない時期に、中学生の訪問があり、ハンドベルの演奏や車椅子の寄贈を受ける等利用者の笑顔に繋がっている。近隣住民から季節の野菜が届く等日常的な交流もある。例年、地域住民や同業施設を招く行事を開催しており、収束後は再開予定である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の中学生は体験学習で来られた時、認知症についての勉強をしています。認知症サポーターの研修受け入れもしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	プロジェクターにてのご利用者様の写真にて様子を伝えたり、ビデオにてお伝えしています。ご家族様の意見をお聞きし制服に名前をつける事、月1回メッセージカードにて様子をお伝えしています。コロナ感染予防にて書面会議の月もありました	新型コロナ禍のため、今年度は第4回まで書面会議、第5回から対面会議を実施している。対面会議ではプロジェクターを活用しており、委員に近況報告書を配付し、感想や意見を得ており、改善事例も確認できる。ただし、議事録に発言者の記載がなく、話し合いの経緯がわかりにくい。	発言者を明らかにし会議での意見や要望を記録することは、今後、委員会での意見を運営に活かす際に必要と思われる。今後の取組に期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて介護保険課の方に参加していただきサービス取組など見ていただいております	新型コロナ禍による自粛前までは、例年介護相談員の受入れや認知症サポーター養成講座の開催などを実施している。今年度は、行政からオンライン会議の案内があり参加している。日頃から、運営における手続きや不明な点を問い合わせるなど協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等の適正化のために指針作成し職員議に時間を設け勉強会を開催しています。日頃より身体拘束のケアを心がけています	身体拘束防止適正化委員会を3ヶ月毎に施設長と管理者2名により開催している。年3回、身体拘束防止の研修を実施している。今年度の委員会で出た意見を再度見直しており、新たな課題・反省点も抽出している。職員は言葉遣い等に留意し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待」に関する内部研修を開催したり、日々の職員会議等を通し虐待防止に関する理解、浸透を心がけています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、知識を増し、地域の人・利用者様御家族へ必要があればアドバイスをしております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定・変更があればその都度説明しています 料金改定の際はご家族様に案内をだし、来ていただいたご家族様と意見交換し決定しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者・ご家族からの意見や要望を職員会議で話し合い改善すべき点は改善するよう努めています	新型コロナ禍では、家族は、利用者と玄関のガラス越しに面会を行っている。現在家族会は休止している。お便りには、職員が利用者について手書きのメッセージを添えて、送っている。また家族へは、LINEやZoomができる旨を伝えている。家族から、本人の好む飲み物や漬物も提供して欲しいという要望があり、応えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りの場にての意見交換の他、年2回代表者と個人面接があり総合的な意見や悩み要望を把握し反映に努めています	スタッフ同士でグループLINEを作っており、情報の共有に活用している。年に2回の代表者と職員との面談の際には、率直に意見や要望を伝えることができている。法人は資格取得について支援しており、受験日を出勤扱いとする等、働きやすい職場環境整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の代表者との個人面接により職場環境改善の意見を聞いています 資格所得等は手当がありモチベーション維持と向上心が持てるよう努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士資格所得の為の実践研修は日勤扱いにし所得しやすい環境を作っています 代表者が管理者に対して随時面接を行い職員一人ひとり何が必要か能力を伸ばす取組を行っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の中でも同業者との意見交換はしています コロナ禍以前はお互いの行事にご利用者様・職員訪問していました ケアマネ会議・研修会等を通して情報交換を行い改善点など繋げています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にご本人と面接をし心身の状態や本人の思いに向き合い、職員との信頼関係が早く築けるように努めている また入所前は家族や担当ケアマネより情報をいただくよう積極的に働きかけている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム入所前にご家族が求めている事やこれまでのご家族の苦労・経緯について聞き取りホームではどのように対応できているか話し合いをしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所する際提携は大久保病院ですがご本人・ご家族の希望があれば馴染みの病院で対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯物を畳んだり、又入浴前の準備はご利用者様と一緒に選び、選べないご利用者様と一緒に居室へ行き声かけながら準備しています 夕食の準備を一緒にすることがあります		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事・外食・花見に参加していただきましたがコロナ禍により現在は招待はしていません 落ち着いたら再開したいと思います 又希望者にはラインで近況を報告しています 全く会えない時間の時は電話をかけたりと支援していました		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望に添うように努めるようにしています	パソコンを用いて料理のレシピを作成している利用者が職員に調理について指南しており、入居前の生活を尊重していることが窺える。また、家族に送る年賀状に本人が年賀状用のシールを貼ったり、職員が家族の葬儀に参列する利用者につき添う等、馴染みの人との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症の状態や性格等に関わらずご利用者様同士がホームで共に生活する仲間として関係作りができるように職員が調整役となり支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の紹介で利用者する方もいます、古い新聞やタオルを持ってきてくださいます コロナ禍になる前は退所された方の入院先へ面会にも行っていました		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声かけ会話をを行いご本人の言葉や表情からその思いを把握するように努めています 意思疎通が困難な方にはご家族様より情報を得るようにしています	利用者が何気なくつぶやいた言葉を家族に確認し、職員も知らなかった利用者の人生が判明した事例がある。化粧やアクセサリーをしている利用者の習慣を尊重しており、受診等で外出する際の服装も本人の希望を聞き取っている。入居後に把握したエピソード等は、フェイスシートに記録し職員間で共有化を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族様との信頼関係を築き上げながら、プライバシーは配慮しつつ入所前に聞き取りをするだけでなく入所後にも徐々に把握するように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事・排泄チェック表、バイタルチェック表等の各チェック表を用いたりご利用者に寄り添い生活リズムを理解し「できること」を探しご本人の全体像を把握するように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議にて意見やアイデアを出し合いプランに反映しています	利用開始から1、2ヶ月の暫定プランを立て、長期6ヶ月・短期3ヶ月の介護計画を作成している。職員は面会時や電話にて家族の希望を聞き取っている他、退院後など変化がある場合は随時見直し、その都度同意を得ている。前回の評価後、「プラン実行表」により、ケアプランの実施状況を記録しており、プランとの連動が確認できる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルを用意し食事・水分量・排泄などの身体状況及び日々の様子を記録しています いつでも全ての職員が確認できるようにしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族様の希望で冠婚葬祭へおつれします 病院も本人さんご家族様の希望にてお連れしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍前は地域行事の呼びかけには参加していました 又近隣の中学生との交流もあります 元職員が慰問に来てくれます		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診(内科の定期受診・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の希望で冠婚葬祭へおつれします 病院も本人さんご家族さんの希望にてお連れしております	入居前のかかりつけ医を継続でき、他科受診も含め職員が通院同行し、結果を家族に伝えている。協力医の訪問診療や歯科の往診を定期的に受けている。日頃から協力医の看護師に相談し連携を取っている他、急変時や夜間帯などは協力医に連絡し、指示を得て迅速に対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されたご利用者の状況確認は連携室の方より定期的に報告があり、看護師さんより情報提供していただいております。又夜間緊急退院の際も対応しております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております 長期になった場合も、連携病院にて対応していただくようにしております	事業所としては支援体制が整っていないため、看取りを行わない方針である。重度化した場合の指針を、利用開始時に利用者・家族に説明し同意書を交わしている。利用継続が困難になった場合は、主治医の意見を基に、他施設への入所や医療機関への入院など、出来る限り協力を行う体制を取っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応についてはマニュアルがあり周知徹底を図っています 又職員は救命救急講習を受けております		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	避難訓練は年3回実施、日中、夜間想定し実施しています 毎月1回の職員会議時は津波・災害時の避難場所の確認・マニュアル確認の研修をしています	毎月自主訓練の他、年1回消防署が立会い総合訓練を行っている。前回の評価後、居室前のネームプレートの裏に本人確認ができる情報を載せ、非常持ち出し用として備えている。ただし、訓練の大部分が、日中・夜間を想定した避難経路や設備の確認、災害関連のDVD視聴等に留まっており、実際の避難訓練の回数が少ない。	火災や地震、水害等の災害対策における避難訓練では、確認や研修による周知に留まらず、実際の避難訓練の割合を増やすことが待たれる。また、その際、全職員が利用者を安全に避難させる動きを習得するためにも、日中に限らず、夜間想定訓練も計画に組むことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケアをする際まずご本人の気持ちを大切に考えさりげないケアを心がけたり、「利用者本位」を常に意識し、自己決定しやすいような声かけをするよう心がけています	利用者の呼び方は、苗字にさん付けとしている。トイレへの誘導の際は、さり気なく声かけを行っている。写真掲載に関する同意書は、3つの選択肢から選ぶ書式となっている。新型コロナ禍では、利用者の家族とLINEを使って連絡を取り合い、コミュニケーションを図っている。ただし、職員の個人所有の携帯電話を使用している。	家族とのコミュニケーションを図る際に、職員個人の携帯電話を使用することは、職員の個人情報保護の観点から不安が残る。検討することが望まれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動の制限をするのではなく側にいて様子を見守り、答えやすい言葉使いをし本人さんの意思を確かめる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人ペースに合わせ生活しております 起床時間・就寝時間もそれぞれ違います		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人のこだわりのスタイルを把握しその人らしさを保てるように支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	干し柿作り・つわむきなどを個人に合った役割を持ち共同作業しています	食事は、調理担当職員の手作りである。職員が検査し改善に繋げている。利用者が野菜の皮むきを行ったり、利用者のレシピを参考に共に食事を作る等、能力を引き出す機会になっている。ミキサー食を作る際、主食と副食を混ぜないように注意している。誕生日のリクエストメニュー、バイキング等趣向を凝らした取組が確認できる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量を把握し、食事摂取量が少ないときは職員・調理場の方と相談し盛り付けやお皿・刻み食などの工夫し模索しています。夏場のおやつはゼリーなどにし水分をできるだけ摂れるよう心がけています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月一度歯科医の訪問があり注意点や個人に合った必要な用具や磨き方の指導をうけています 個別で治療・口腔ケアの仕方など受けているご利用者様もいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を定期的に行っています(排泄チェック表を確認し誘導)	トイレでの排泄を基本としており、現在ポータブルトイレを使用している利用者はいない。チェック表を基に、早めの誘導を行っている。更に、職員間で、パッドをより薄いものにできないか、自立に向けた検討を行っている。他の施設から入居した利用者が、おむつから布パンツへと改善した事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し腹部マッサージを行ったり運動の参加の呼びかけ、医師と相談し水分補給・服薬で調整しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決まっていますが本人さんに希望があれば対応しています 最後にゆっくり入りたい方やお湯加減も個人で違うので、それぞれに合った熱さに調整しています	入浴は、週に3回を基本としている。浴室と脱衣所は、暖房設備により、ヒートショックを予防している。リフト浴もある。殆どの利用者が浴槽に浸かることができている。清拭も行い、清潔保持に努めている。湯は好みの温度に調整すると共に、季節により菖蒲湯やゆず湯も提供しており、入浴が楽しいものとなるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間は皆さん違います ゆっくり寝たい方は遅くまで寝ています 日中もお昼寝時間がありますが、本人の意思に沿って対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護日誌にお薬リストを挟み目を通すようにしています 処方の変更になった際は、日誌や連絡ノート申し送りにて把握するようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれ自分がやりたい事や得意な事で一人ひとりの力を発揮していただけるよう 調理面や家事(洗濯畳みなど)心がけており感謝の気持ちも伝えています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば支援できるよう心がけています ドライブ時にはコロナ禍で外には出ることにはないですが、車内で楽しむようにしています	新型コロナ禍にあっても、近郊へドライブに行き、皆で名物を堪能したり、アイスクリームを食べたり楽しいひと時を過ごしていることが確認できる。また、外食気分を味わえるようテイクアウトしている。屋上からの開放感のある眺めを楽しんだり、春には2階で花見茶会を催す等、敷地内の満開の桜を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時にはご家族の同意を得て本人さん用のお金を準備し買い物の時間を設けていますが、コロナ禍の影響により出かけられないので、本人に変わり代行で職員が買い物を行っています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時にはかけています コロナ禍で面会ができない時期は職員の方から声かけています 年賀状のやりとりもしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	電気・カーテンで光の調整を行ったり大きな音は立てないよう配慮しています 室内の温度は本人さんに確認と温度計で確認し微調整しています カレンダーや飾り物で季節感を出しています	ウッドデッキや屋上からの眺望もよく、春には、満開の桜を楽しむことができる。廊下は広く開放感があると同時に、手摺りを設置しており安全を確保している。リビング内のキッチンからは、食事作りの音や匂いを感じることができ、家庭的である。職員は清掃や換気に心を配り、居心地のよい環境づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて皆様と一緒に話やゲーム・体操など無理強いすることなく自由にさせていただき又独りになりたいときはそっと見守っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者個人の居室について馴染みの物を生かしてその人らしく暮らせるよう配慮しています	持ち込みに制限はなく、使い慣れた家具や家族の写真、ぬいぐるみ、位牌等がある。自室でテレビドラマを楽しむ利用者もおり、これまでの暮らしを継続する様子が窺える。誕生日には、職員が笑顔の写真を額に飾り贈っている他、職員の手作りカレンダー等、温かみのある居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりがあり立位運動をされるご利用者もいます トイレ・風呂場など大きく表示しています		

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	(有)なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ2F		
所在地	長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日	令和3年 1月 6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/42/">http://www.kaigokensaku.jp/42/</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市宝町5番5号HACビル内
訪問調査日	令和4年3月25日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々癒やしの心で接する事を心がけています。2Fにはウッドデッキがあり日光浴や花見をお茶・おやつを食べながら楽しみ、又、桜が咲くと1Fの利用者様もお誘いしてます 秋は柿が実り豊作の年は干し柿を利用者様が作ってくれます 行事はコロナ禍以前はご家族に呼びかけ沢山来られていたましたが現在はコロナ予防対策として行事も各フロアにて開催しています 誕生日会は誕生者の方の好きな料理を取り入れた食事を作っています。又ケーキは2Fの利用者様の手作りです 外食は現在コロナ予防の為に好きな店でテイクアウトしています お寿司や吉宗・梅の花などメニューも決めていただいています 生活の中では無理のない運動、立つ事を意識した生活で筋力低下の防止やベット上で過ごす事が多い利用者様は横になる際、体位交換時にマッサージをし拘縮予防を心がけています

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は「癒やし」理念と経営方針は毎月1回の職員会議にて読み上げ常に頭に置き実践に繋がっています		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍により地域の方や近隣のGHとの交流はしていないが令和3年12月にコロナが落ち着いてきた際近隣中学校の生徒さんが来られハンドベル演奏・車椅子の贈呈がありました 久々の交流で感慨深い物がありました		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の中学生は体験学習で来られた時は認知症についての勉強をしています。認知症サポーターの研修受け入れもしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	プロジェクターにてのご利用者様の写真にて様子を伝えたり、ビデオにてお伝えしています。ご家族の意見をお聞きし制服に名前をつける事、月1回メッセージカードにて様子をお伝えしています コロナ感染予防にて書面会議の月もありました		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて介護保険課の方に参加していただいておりますサービスの取組など見ていただいております		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束等の適正化のために指針作成職員議に時間を設け勉強会を開催しています日頃より身体拘束のケアを心がけています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	年2回は研修を行い一人一人が改めて意識し過去の振り返りを行い改善すべき点を話し合い共有しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会に参加し、知識を増し、地域の人・利用者様御家族へのアドバイスをしております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改定・変更があればその都度説明しています 料金改定の際はご家族様に案内をだし、来ていただいたご家族様と意見交換し決定しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者・ご家族からの意見や要望を職員会議で話し合い改善すべき点は改善するよう努めています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りの場にての意見交換の他、年2回代表者と個人面接があり総合的な意見や悩み要望を把握し反映に努めています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の代表者との個人面接により職場環境改善の意見を聞いています 資格所得等は手当がありモチベーション維持と向上心が持てるよう努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士資格所得の為の実践研修は日勤扱いにし所得しやすい環境を作っています 代表者が管理者に対して随時面接を行い職員一人ひとり何が必要か能力を伸ばす取組を行っています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍の中でも同業者との意見交換はしています コロナ禍以前はお互いの行事にご利用者様・職員訪問していました ケアマネ会議・研修会等を通して情報交換を行い改善点など繋げています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に事前に面接し、本人さんに要望を聞く、伝えたりすることが困難な場合は行動や表情見て安心出来る対応を心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を聞くように心がけています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所する前にかかりつけ医をこちらの提携病院か今までの病院が良いのか聞き本人とご家族の意向に沿い対応しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯物を畳んだり、又入浴前の準備はご利用様と一緒に選び、選べないご利用様と一緒に居室へ行き声かけながら準備しています 夕食の準備を一緒にすることがあります		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事・外食・花見に参加していただきましたがコロナ禍により現在は招待はしていません落ち着いたら再開したいと思います 又希望者にはラインで近況を報告しています 全く会えない時間の時は電話をかけたりと支援していました		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知人に電話支援や会話の中に取り入れ関係が続くよう支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操・レク・楽しめるように工夫しています、共同作業や日中の場面においてもリビングやソファでのコミュニケーション作りをしています 誕生日会のケーキ作りは共同作業でしており、皆さんとても上手に作ります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方の紹介で利用者する方もいます、又古い新聞やタオルを持ってきてくださいます コロナ禍になる前は退所された方の入院先へ面会にも行っていました		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人さんの好きな歌を聴いたり、誕生日会では誕生者の方の好きな食事を作りお祝いしています 外食のかわりにテイクアウトを頼みますが好きなお店、メニューは利用者様が決めています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は入所前面接や入所時にご家族様に聞いています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	洗濯物をお手伝いは、靴下をしてくださる方、タオルをしてくださる方など出来る事をさせていただいています 又昼食後自室にて休んでいただく方自由に自室とリビングを歩き来される方など把握しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議にて意見やアイデアを出し合いプランに反映しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月25日をカンファレンスの日と決め職員間で話し合いケアの見直しを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族様の希望で冠婚葬祭へおつれします 病院も本人さんご家族様の希望にてお連れしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ドライブや病院受診に出かけたとき馴染みのある場所へ立ち寄り会話を引き出すようにしています又コロナ禍以前は地域の方との交流を行い災害時は協力をお願いしています 入所前に行かれていた美容室やご家族が散髪にきたりしています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診(内科の定期受診・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の希望で冠婚葬祭へおつれします 病院もご利用者様・ご家族様の希望にてお連れしております		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院されたご利用者様の状況確認は連携室の方より定期的に報告があり、看護師さんより情報提供していただいております。又夜間緊急退院の際も対応しております		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在は、3週間以上にわたり入院した場合、医療行為が必要になった場合は退所となっておりますが長期入院にならなければホームで対応しております 長期になった場合も連携病院にて対応していただくようにしております		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回は心肺蘇生を消防の方をお願いして実施しています 急変時の対応のマニュアルを作成しご利用者様の状況を判断し行動するよう心がけています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている。	毎月10日火災・水害・地震と場面に応じた研修をや避難訓練を行い、年1回消防の立ち会いにて避難訓練・消化器訓練を行っています コロナ禍以前は消防団・地域の方の参加もありました		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の意見を尊重し不安にならない声かけや態度をとるよう心がけています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の行動の制限をするのではなく側にいて様子を見守り、答えやすい言葉使いをし本人さんの意思を確かめる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人さんペースに合わせて生活しております 起床時間・就寝時間もそれぞれ違います		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出や行事などに合った服装を着用し女性は化粧をします 化粧水をつけたり普段よりおしゃれを心がけている方にはそのまま継続できるよう支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ケーキ作り・干し柿作りなどを個人に合った役割を持ち共同作業しています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事量を把握し、食事摂取量が少ないときは職員・調理場の方と相談し盛り付けやお皿・刻み食などの工夫し模索しています 夏場のおやつはゼリーなどにし水分をできるだけ摂れるよう心がけています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	月一度歯科医の訪問があり注意点や個人に合った必要な用具の指導をうけています 個別で口腔ケア・治療・口腔ケアの仕方など受けている利用者もいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を定期的に行っています(排泄チェック表を確認し誘導) 紙パンツから布パンツになられた方もいます		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄パターンを把握し腹部マッサージを行ったり運動の参加の呼びかけ、医師と相談し水分補給・服薬で調整しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決まっていますが本人さんに希望があれば対応しています 最後にゆっくり入りたい方やお湯加減も個人で違うのでそれぞれに合った熱さに調整しています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	起床時間は皆さん違います ゆっくり寝たい方は遅くまで寝ています 日中もお昼寝時間がありますが本人の意思に沿って対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護日誌にお薬リストを挟み目を通すようにしています 処方の変更になった際は日誌や連絡ノート申し送りにて把握するようにしています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌がお好きな方は皆様に披露出来る場を作り、料理が好きな方は調理のお手伝いをしていただいております 又立位運動や歩行練習を一緒に行い、出来たときは一緒に喜び自信とやる気を引き出すようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍以前は一緒に近所を散歩したりドライブに出かけておりました 又冠婚葬祭もご家族様のご協力をいただいたり、お連れできるような体制を整えています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時は本人さんようのお金を準備し好きなものを買えるようにしています 又お金を持参している方もおられお孫さんの面会時にはお金を渡し満足しているようです ご家族にはその都度連絡はしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時にはかけています コロナ渦で面会ができない時期は職員の方から声かけています 年賀状のやりとりもしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	電気・カーテンで光の調整を行ったり大きな音は立てないよう配慮しています 室内の温度は本人さんに確認と温度計で確認し微調整しています カレンダーや飾り物で季節感を出しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて皆様と一緒に話やゲーム・体操など無理強いすることなく自由にしていただき又独りになりたいときはそっと見守っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には自宅から持ってきた家具を置ける方もいます 亡くなった家族の写真やお位牌もおいています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりがあり、外を眺めながら手すりを持ち立位運動をされるご利用者様もいます トイレ・風呂場など大きく表示しています		